

# “ダブルチェック”で減らない確認ミスに効果 うっかりエラー防止対策

## 心のよそ見・思い込み低減トレーニング



### 「エラーの瞬間、心の中で何が起きるか」がわかった!

現在のエラー対策は、ほとんど“システム”に対するものです。しかしヒヤリハットの発生要因は「確認を怠る」「思い込みで行動する」など、“人”にかかわる問題が多くを占めます。これに対し、ダブルチェックの追加で成果が上がらないことは、誰しも実感しているでしょう。エラーが起こる瞬間、「私たちの心の中で何が起きるか?」349件の検証事例をもとにスリップエラーやミステイクのしくみを解き明かし、「心のよそ見」「思い込み」の低減策(ヒューマン・トレーニング)を、体験型ワークで具体的にお伝えします。

**堤 俊也氏** 株式会社ヒーリング・サポート  
はるかぜ薬局 代表取締役/薬剤師  
元・日本ゲシュタルト療法学会 理事

1986年、明治薬科大学薬学部薬剤学科を卒業。国立都城病院、国立熊本病院、旧厚生省薬務局、チェーン調剤薬局などを経て、はるかぜ薬局を開局。1992年より宗像恒次筑波大教授に師事しヘルスカウンセリングを学ぶ。2009年、NPO法人ゲシュタルトネットワークジャパンファシリテーター養成コース修了。近年は医療エラーの研究・研修で活躍中。日本薬剤師会、日本医療マネジメント学会、医療の質・安全学会、NPO法人ヘルスカウンセリング学会、日本ゲシュタルト療法学会などに所属。著書に『服薬指導にすぐ使えるカウンセリングテクニック』(薬業時報社)他がある。

仙台	18年 8月26日(日)	ショーケー本館ビル
名古屋	18年 10月28日(日)	縁(えにし)ビル
福岡	18年 11月4日(日)	福岡センタービル
東京	18年 11月25日(日)	損保会館
大阪	19年 3月10日(日)	田村駒ビル

【講義時間】いずれも10:00~16:00

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円  
※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

## 「自分への気づき」を深めるワークで エラーを低減!

プログラム

1. ダブルチェックだけで確認ミスは減らない  
—システムへの対策、その落とし穴と限界
2. うっかりエラーの瞬間、心の中で何が起きている?  
1) 認知科学からみたエラーの3分類  
2) 349事例にみるエラーの瞬間、6つの心理  
3) 対策すべきは「心のよそ見」と「思い込み」
3. 《実証》ヒューマン・トレーニングでエラーが減った!
4. 《実践》「思い込み」「心のよそ見」防止トレーニング  
—ヘルスカウンセリング技法、  
ゲシュタルト療法のワークを応用して

- ワーク1 いま、ここ、自分に気づく
- ワーク2 注意のフォーカスはどこに?
- 事例演習 気づきのシートを用いた対策

お客様の生の声は

ホームページ 毎週更新 **現場から生まれた専門性を磨く研修と教材**

## 教材付き専門誌 病院安全教育

全体&各部署で取り組む  
対策と事例!  
隔月刊誌(年ぎめ定期刊行物)  
A4判 128頁 入会金 3,000円  
年間購読料 24,840円(共に税込)

特集 8月9月号  
医療安全の組織的な推進  
“モグラ叩き”的な活動から  
仕組みの改善へ!

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> うっかりエラー防止対策 [14566] ↓参加地区に✓印を [7] <input type="checkbox"/> 仙台 8/26 [9] <input type="checkbox"/> 名古屋 10/28 [11] <input type="checkbox"/> 福岡 11/4 [12] <input type="checkbox"/> 東京 11/25 [10] <input type="checkbox"/> 大阪 19年3/10	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください ふりがな _____ 氏名 (受取確認者) _____ 生年月日 西暦 19 ____年 ____月 ____日	送付住所 TEL(____) ____-____ 〒 ____-____ 勤務先名 _____	施設宛 請求書 必要 ・ 不要 送付先 自宅 ・ 勤務先
	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード _____ 役職・部署 _____ ご連絡をお送りします。メールアドレス _____		

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**